

## 本検討会の開催にあたって

### 金融庁より

#### • **本検討会の背景**

サステナブルファイナンス有識者会議報告書（2021年6月18日）において、有益な情報が得られる環境整備、ESG関連債の適格性を客観的に認証する枠組みの構築を提言

#### • **サステナブルファイナンス有識者会議第9回（2021年9月22日）の議論（抜粋）の紹介**

- ✓ 特に債券について環境省、日証協等色々なところに分散しているESG関連債・投資関連情報を有機的に集約・一元化するプラットフォームを議論してはどうか
- ✓ 投資家に不足している情報を整理するのが第一歩ではないか。例えば社債に関する基本的情報に加えてセカンドオピニオン等や発行後の様々な情報、事業体としての取組方針などの情報を集約・一元化することを検討してはどうか
- ✓ 海外の投資家、評価機関等の利用を促すには英語が重要となるがタイムラインと共に優先順位を検討する必要があるのではないか
- ✓ ESG債の認証については様々なものがあるがどう定義していくのか、内容について投資家が判断できるように十分な情報が明確にされることが有益ではないか
- ✓ トランジションについてはロードマップ検討会で得られた知見を活用しながら日本の見解として海外にも発信してはどうか

### 事務局より

#### • **本検討会の目的**

日本のESG債等市場の活性化に資するよう、市場参加者全体の協働により負担を分散しつつ、効率的でサステナブルなプラットフォームの実現方法を検討したい

#### • **問題認識**

- ✓ 発行体（引受証券会社）が他社事例を参考にESG債等の発行（発行後のレポーティング含む）を検討しようとする場合の、情報収集コストが高いのではないか
- ✓ 発行体が幹事証券会社・第三者評価機関の選定をしようとする場合の公正な比較 検討が困難なのではないか
- ✓ 投資家がESG債等の投資判断を行うための情報分析コストが高いのではないか
- ✓ 発行体は取得した第三者評価機関による評価を、投資者との対話などに活用できていないのではないか
- ✓ 策定主体が異なる基準が複数存在し、見直しも少なくないため、投資家は基準間の差異を理解するのが困難ではないか
- ✓ 特にグローバル投資家から定性面で国内基準に対する理解が得がたい場面があり、海外発行のコストが相対的に高いのではないか

区分	具体的な意見
プラットフォームについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>“作りっぱなし” にならず、サステナブルな仕組み（定期更新、情報源、担い手の確保等）を目指すべきではないか</li> <li>ユーザーが「お金を払ってでも使いたい」／発行体が掲載したいと思えるようなものにすべきではないか</li> <li>公開情報を利用しやすくするという公的な観点から、有料化は考えづらいのではないか。また、情報ベンダー等が設ける仕組みとのすみ分けも考慮すべきでないか</li> <li>他プラットフォーム（環境省・日証協等）等とのインターフェイスはどうするか</li> <li>一覧化するだけでも有益のため、理想を求めすぎず早期リリースを目指していくのが良いのではないか</li> <li>掲載情報の内容については、申請者／閲覧者が判断をすべきであり、掲載者に責任を負わせない形にすべきではないか</li> </ul>
対象ユーザー	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰を対象ユーザーとするのかについて、明確にする／優先順位をつけてはどうか（プラットフォームの目的を明確化しないと掲載項目も定義できないのではないか。）</li> <li>債券投資家だけでなく、幅広い資本市場参加者が参照できるものになるといいのではないか</li> <li>海外投資家へ向けて、英語の開示についても検討すべきでないか</li> </ul>
ESG債種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>トランジションファイナンスは資金用途限定やSLBの上位のレイヤーになり投資判断に企業開示全体や個社の戦略が重要。その点を踏まえ情報を掲載すべきではないか</li> <li>網羅性を踏まえると、ソーシャルボンド・サステナビリティボンドも掲載対象とすべき</li> </ul>
レポートイング	<ul style="list-style-type: none"> <li>発行件数も増えており情報収集コストが増加しているため、レポートイングが一覧できるだけでも有難く、発行後のモニタリングツールとして非常に有用</li> <li>内容詳細を見られずに、KPIの単純比較で発行体が選別されることは避けるべき</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>ESGスコア会社とESGファイナンス評価会社は異なるため、本検討会では分けて議論するべき</li> <li>トランジション・ファイナンス等、商品に対する理解が浅い投資家向けのコンテンツを掲載しても良いのではないか</li> <li>私募債の掲載についても検討しても良いのではないか</li> </ul>